

全連小第9回常任理事会（1/22）報告

平成22年1月26日

1 全連小北海道大会関連

○常任理事会で三点セット及び原稿執筆要綱を提示した。「分科会の充実こそが最大のおもてなし」という北海道大会の理念を理解していただけた。併せて、全連小では経費節減の観点から、今後も次の点に留意することを確認し合った。

- ① 会費は8000円から値上げをしない。
- ② 分科会・分散会はホテルではなく、公共施設を利用する。
- ③ 大会要録・集録のカラー写真頁の掲載等を縮減し、簡易な製本とする。
- ④ 大会歓迎レセプションは、縮減か廃止の方向で検討する。
- ⑤ 参加者名簿・運営要項・レセプションプログラム等は手作り印刷を指向する。
- ⑥ 大会案内文書の一層の簡素化を図る。

○1/29の大会打合せ会（京都）で3点セットを提示する。その後、全国各地区に発送する。

2 全連小関連

- (1) 文科省予算内示（12/25）約3100億円（前年比5.9%増）
 - ・定数改善 4200名（全連小要望の最大課題 昨年は800名）
 - ・サポート先生 7000名（週12時間換算）
 - ・スクールカウンセラー 小学校 3650校→10000校
 - ・スクールガード・リーダー配置 小学校 4500名（新規事業）
 - ・スクールヘルス派遣事業 2400校（新規事業 経験の浅い養護教諭支援 未配置校へ）
- (2) 調査ものの縮減（子どもと向き合う時間の確保）
 - ・それぞれの自治体に要望を
- (3) 勤務時間の縮減に向けた学校運営の工夫を
 - ・会議の回数、時間の縮減
 - ・稟議システム、供覧システムの導入
 - ・長期休業中の会議設定
- (4) 2008「児童生徒の問題行動調査」結果公表 文部科学省
 - ・小学校の対教師暴力 1001件（前年比 14.9%増）
 - 児童間暴力 3849件（同 31.2%増）
 - 器物破損 1468件（同 14.0%増）
 - ・小学校の退学・転学措置 14名 関係機関への措置 174名
 - ・小学校のいじめ 8089名（前年比 16.5%減）
- (5) 学習指導と学習評価に関する意識調査
 - ・集団の中の成績の順位を何らかの形で知らされている保護者
 - 小学校 12.1% 中学校 69.1% 高校 86.3%
 - ・通知表は分かりやすいか
 - そう思う 11.2%
 - まあそう思う 50.0%
 - あまりそう思わない 28.0%
 - そう思わない 6.9%